



まいづる 市議会だより

Maizuru City Council News Letter

No. 147

平成28年(2016)
4月28日

主な内容

3月定例会のあらまし	2
平成28年度予算	2
代表質問	4
一般質問	6
常任委員会の審査報告	11
各会派討論の内容	12
議案採決結果	14
特別委員会の活動	16
6月定例会予定	16

- 平成28年度当初予算総額649億5530万円を可決
- 平成28年10月から、水道料金を平均11.2%、
下水道使用料を平均7.6%の引き上げに係る予算・条例を可決



希望あふれる
新たな一歩

(若浦中学校入学式から)

3 月定例会のあらまし

●教育委員会所管のスポーツ・文化に係る事務を市長が行うこととする条例を可決

●舞鶴市組織及び分掌事務に関する条例の一部改正を可決

効率的・効果的な組織運営を行うため、「市民環境部」を「市民文化環境部」とし、地域コミュニティ、生涯学習、文化、スポーツに係る事務を追加、水道部と下水道部を「上下水道部」に統合

●舞鶴市休日急病診療所に係る条例の一部改正等を可決

平成28年7月に休日急病診療所を市の直営施設に改めることに伴い、指定管理者の指定期間を平成28年3月31日までに変更

◎舞鶴市議会は、3月定例会を2月29日から3月28日までの29日間開催しました。市長提案の平成28年度当初予算、27年度補正予算、条例、人事など55議案を審議の結果、いずれも原案のとおり可決しました。また、議会運営委員会提案の議員の期末手当を27年度から0.05月分引き上げる舞鶴市議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の改正、市の組織改編に伴う民生環境委員会及び建設委員会の所管事項を改める舞鶴市議会委員会条例の改正を可決しました。（採決結果は14・15票）

●平成 28 年度 舞鶴市当初予算可決

■ 一般会計	350億4161万円	(対前年度比 9億7395万円、2.7%の減)
■ 特別会計	299億1369万円	(対前年度比 9億3641万円、3.2%の増)
【うち公営企業会計】	計46億5971万円	(対前年度比8億4712万円、22.2%の増)
■ 総 額	649億5530万円	(対前年度比 3754万円、0.1%の減)

平成28年2月29日の本会議において市長から、平成28年度予算は、本市が大きく飛躍するために必要な基礎を築くターゲットイヤーと見据えた平成27年度から、さらなる飛躍を遂げるために必要な事業に大きく投資する一方、経常経費の節減に努めるなど戦略的、かつ持続可能で安定的な財政運営を堅持するための予算編成を行ったこと。平成28年度の一般会計予算額は350億4161万円、公営企業会計を含む特別会計予算額の合計は299億1369万円となり、一般会計と特別会計を合わせた額は649億5530万円となること。

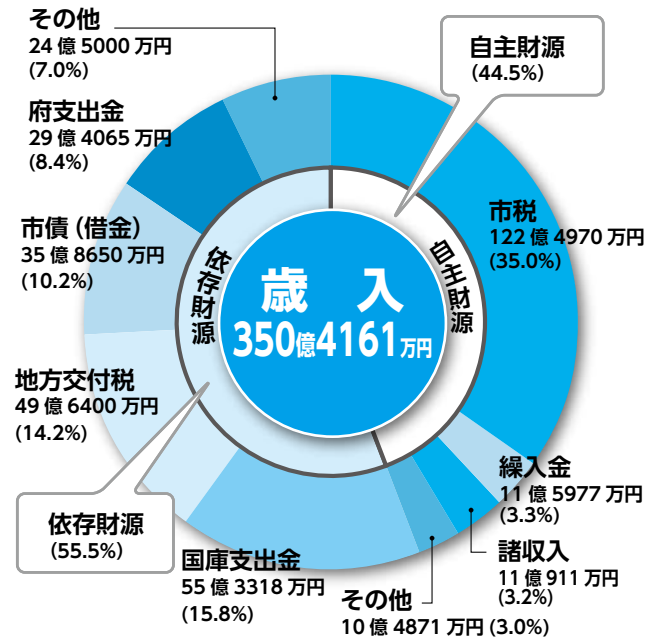
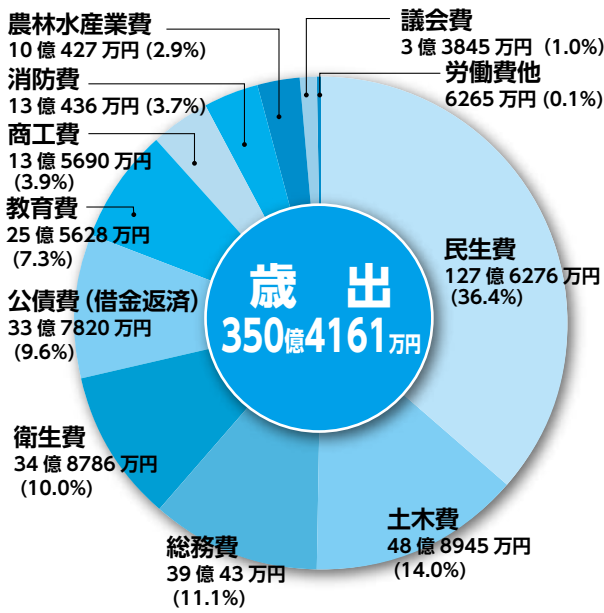
●平成27年度一般会計補正予算4億7758万円を可決
平成28年2月29日の本会議において市長から、平成27年度一般会計補正予算は、本市の行政ネットワーク接続環境を強化するための情報セキュリティ強化



最終本会議で審議した結果、平成28年度一般会計、水道事業会計、病院事業会計、国民健康保険事業会計、下水道事業会計、介護保険事業会計、後期高齢者医療事業会計の7件の予算は賛成多数、それ以外の予算は全員賛成としました。

※心豊かに暮らせるまちづくり…本市の豊かな自然、歴史・文化を地域の宝、誇りとして育む中で、子育て、教育などの環境の充実を図り、若い世代の希望の実現、時代に合った暮らしやすい地域づくりを推し進めるまちづくり施策

一般会計予算



まちづくりに係る主な事業

●心豊かに暮らせるまちづくり

(新規) 世界記憶遺産国際ブランド推進事業 (弓揚港巡回展の実施など)	1681万円
(新規) 乳幼児教育ビジョン推進事業	451万円
(新規) 子ども何でも相談窓口整備事業	252万円
(継続) 都市公園整備事業 (仮称)西運動公園の整備など)	3億3390万円
(拡大) 小中一貫教育推進事業	658万円
(拡大) 夢チャレンジサポート事業 (学習用プリント教材の作成など)	2464万円

●安心のまちづくり

(継続) 生活困窮者自立相談支援事業	2197万円
(継続) 介護人材確保支援事業 (介護福祉士育成修学資金貸与制度など)	5131万円
(新規) 「選択と集中、分担と連携」推進事業費補助	1億円
(新規) 西地区浸水対策事業 (宅地高上げ助成制度など)	3178万円

●活力あるまちづくり

(継続) 地方創生拠点整備事業	2222万円
(拡大) まち・ひと・しごと創生総合戦略推進事業	553万円
(新規) 6次産業化推進事業	460万円
(継続) 海の京都観光推進事業 (仮称)海の京都まち博「ハイカラまいづる」の開催など)	807万円
(継続) 幹線道路整備事業 (市道引土境谷線・和泉通線)	3億3870万円

特別会計予算

会計区分	28年度	27年度	伸び率
国民健康保険事業会計	104億4316万円	103億8389万円	0.6%
簡易水道事業会計	9億8050万円	9億5476万円	2.7%
土地建物造成事業会計	358万円	398万円	-10.1%
貯木事業会計	103万円	101万円	2.0%
下水道事業会計	44億9878万円	47億2884万円	-4.9%
駐車場事業会計	4781万円	4667万円	2.4%
介護保険事業会計	81億2032万円	78億5727万円	3.3%
保険事業勘定	81億1412万円	78億5127万円	3.3%
介護サービス事業勘定	620万円	600万円	3.3%
後期高齢者医療事業会計	11億5880万円	11億8827万円	-2.5%
公営企業会計	46億5971万円	38億1259万円	22.2%
水道事業会計	36億1752万円	28億1476万円	28.5%
病院事業会計	10億4219万円	9億9783万円	4.4%
合計	299億1369万円	289億7728万円	3.2%

【主な事業】

- 情報セキュリティ強化対策事業 2370万円
- 地方創生加速化交付金事業 2370万円
- 原子力災害対策施設緊急整備事業(朝来小学校) 7388万円
- 1億2090万円

対策事業、舞鶴版・地方創生の取り組みをさらに推進していくための地方創生加速化交付金事業、国の補正予算による朝来小学校における原子力災害対策施設緊急整備事業など4億7758万円の増額を行い、結果一般会計予算総額は365億2566万円となるなどの説明を受け、3月28日の最終本会議で審議した結果、賛成多数で可決しました。

平成28年3月9日、本会議を開き、5人の議員が代表質問を行いました。
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

代表質問

平成28年 舞鶴市議会3月定例会代表質問

平成 28 年 3 月 9 日

順番	質問方式	会派名及び氏名	質問事項
1	一括	新政クラブ議員団 岸田 圭一郎	1 京都府北部地域連携都市圏構想について
			2 災害対策について
			3 高速道路ネットワーク完成に伴う経済効果について
			4 農水産業の振興について
			5 環境整備について
			6 上下水道料金の改定について
			7 教育について
2	一括	日本共産党議員団 後野 和史	1 平和と安全を守る市政について
			2 原発再稼働と市民の安全について
			3 公共料金等の値上げについて
			4 予算案について
3	一括	創政クラブ議員団 山本 治兵衛	1 平成 28 年度予算編成方針について
			2 心豊かに暮らせるまちづくりについて
			3 安心のまちづくりについて
			4 活力あるまちづくりについて
			5 北陸新幹線について
4	一括	公明党議員団 上羽 和幸	1 原子力防災について
			2 地方創生の取り組みについて
			3 教育について
			4 地域医療と旧市民病院の跡地利用について
5	一括	鶴翔会議員団 亀井 敏郎	1 市長の市政運営について
			2 インフラ整備について
			3 北陸新幹線京都府北部ルートについて

※質問事項のうち各議員が記述の主な質問・答弁の要旨以外の事項は、ホームページをご覧ください。



北陸新幹線京都府北部ルート誘致促進同盟会総決起大会

飛躍元年で目指す
府北部の連携強化は



新政クラブ議員団
岸田圭一郎

質問 府北部5市2町が連携して、中核市に匹敵する都市機能を整える取り組みである「京都府北部地域連携都市圏構想」の中で、北陸新幹線の京都府北部ルートの誘致と海の京都DMOの設立に向け、どのように活動展開されるのかを問う。

答弁 府北部を抜きにして日本海側国土軸の形成や北陸新幹線のルート延伸は議論でき

ないと考え「京都府北部ルート誘致促進同盟会」を設立し、日本の顔となるブランド観光地域を目指すため、府北部5市2町や各観光協会、民間事業者との連携を密に取り組む。

関西電力への安全管理を

質問 今般、高浜原子力発電所で立て続けに発生するトラブルに対し、どのような対応をしたのか、今度どのような安全管理を求めているのかを問う。

答弁 今回は緊急性がなく、重大事故への進展はないと判断したが、信頼を損ないかねず、関西電力に、今後も事業者としての責任で安全の確保を最優先に取り組んでいくよう強く求めていく。

平成28年3月9日、本会議を開き、5人の議員が代表質問を行いました。
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

代表質問

市民の不安や意見を 反映した避難計画に



日本共産党議員団
後野 和 史

質問 再稼働容認表

明は市長として事故が起きて市民のいのちと安全を守る覚悟をもつてのことか。被ばくを前提にした避難計画であるなら、即時避難の地域を拡大すること、安定ヨウ素剤を全市民に事前配布するなど、市民の不安や意見を聞いて計画に生かすべきではないか。

AZは事故発生前に避難、5〜30キロは同時に避難すれば道路が詰まるなど、大変な事態にならないようにする計画としている。直ちに避難が必要な通知するが、漏水事故はそうではなかった。いつ伝えるか、緊急性が重要だ。

高浜原発が再稼働前に2回も事故を起こしたが、なぜ防災行政無線で市民に知らせなかったのか。

答弁 本市は

まさに立地自治体であり、そういう態度表明が先々求められる。議会決議を尊重し表明した。P



現在停止中の高浜原発3・4号機

舞鶴 100年の大計 大型誘致実現に全力



創政クラブ議員団
山本治兵衛

質問 国土強靱化の

視点からエネルギーインフラを強化しなければならぬが、府は研究会を立ち上げ、国に対して基地整備の提言を行った。舞鶴にとつてエネルギー基地の誘致は大きな効果が期待できることから誘致実現に取り組む必要があると思うが、考えを問う。

答弁 京都府で

はLNGインフラの整備などの予算提案をされており、LNG受入基地の立地は計り知れない経済効果が見込めることから、市として重要なプロジ



北陸新幹線の京都府北部ルート誘致を

エクトとして京都府と強固な連携のもとで、積極的に推進していく。北部ルート決定に期待

質問 北陸新幹線の

ルート決定に市民が期待している。京都府南北格差の是正と北部都市圏に大きな効果を期待するが誘致実現に向けて市長の考えを問う。

答弁 平成28年度は

国において、新幹線のルートが決定されることから重要な時期を迎えている。北陸新幹線は国土の均衡ある発展と北部連携都市圏の発展に向けて関係団体と一体となって取り組む。

特別支援教室の 新たな設置を



公明党議員団
上羽 和 幸

質問 特別支援教育

に位置づけられた通級指導教室は、言葉や発達に課題のある子どもが、生活や学習上の困難を克服するために重要な役割を担っている。通級指導を受けている児童生徒は増加しているが、本市の通級指導教室は、小学校では東西2校だが、中学校は1校である。他校から通う生徒がごく少数である現状からも、希望者が通級指導を受けられていない環境がうかがえる。保護者からの要望も多くのある西地区への設置に努力をいただきたい。

答弁 生徒の通

級の負担を改善するため、西地区の中学校に通級指導教室を設置する

休日急病診療を毎週日曜日に

質問 休日急病診療

所は月に2回の診療だが、毎週日曜日の診療となるよう努力をいただきたい。

答弁 舞鶴医師会に

前向きに検討いただいており、早くできるよう協議を続けていく。



舞鶴市休日急病診療所

平成28年3月9日、本会議を開き、5人の議員が代表質問を行いました。
平成28年3月10日、11日本会議を開き、15人の議員が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

代表質問・一般質問

すでに終わつたか
舞鶴の医療問題

質問 平成23年、現市長が当選し、医療施設は大きく変更された。各病院の特徴的な機能を強化充実し、全体が有機的に機能する体制を整備する。また、「舞鶴地域医療連携機構」を設置し、病院連携強化、救急医療の充実、医師確保対策を実施していくというものである。しかし、各病院のハード整備が終わると同時に連携機構の組織改編をするというものである。まさにこれから機構本来の目的である医療施策について重要な役割を果たさなければならぬ時期に改編される理由が理解できない。市の考えを問う。



救急医療の現状

答弁 連携機構のメンバーである医療機関などの現場従事者が地域医療の課題解決に向けて積極的に協議を進めてきた。病院間循環パスの利用助成、公的病院間画像共有ネットワークシステムの導入などにより、設立時の病院間連携の仕組みづくりという所期の目的は一定達成したものと考えている。



鶴翔会議員団
亀井敏郎

平成28年 舞鶴市議会3月定例会一般質問

平成28年3月10日、11日

順番	質問方式	氏名	質問事項
1	一問一答	小杉 悦子	1 安心できる介護保険事業について
			2 子育て医療と国民健康保険・後期高齢者医療保険について
			3 TPPと消費税増税について
2	一問一答	杉島 久敏	1 病児保育について
			2 地域医療連携について
			3 認知症サポーターについて
3	一括	水嶋 一明	1 小中一貫教育について
			2 農林水産業の振興について
			3 安心安全な地域づくりについて
4	一括	林 三弘	1 本市の財政について
			2 3世代同居政策の推進について
			3 京都府北部地方卸売市場について
5	一括	田村 優樹	1 魅力ある教育活動について
			2 高齢者と若者のクロスシフトによる移住・定住について
6	一括	西村 正之	1 危機管理体制について
			2 (仮称)西運動公園について
7	一括	石束 悦子	1 高齢者と子どもの福祉について
			2 周辺部の交通網と街灯について
8	一括	小谷 繁雄	1 切れ目のない子ども・子育て支援の充実について
			2 障がい者支援について
			3 舞鶴市公式ホームページのリニューアルについて
9	一括	今西 克己	1 安全・安心なまちづくりについて
			2 職員労働団体について
10	一括	高橋 秀策	1 まちづくりにおける女性の活躍について
			2 企業誘致について
			3 地籍調査について
			4 交通問題について
11	一括	眞下 隆史	1 引揚記念館事業について
			2 舞鶴市のCO2削減に対する取り組みについて
			3 舞鶴市の健康促進施策について
12	一括	尾関 善之	1 民間によるFM局開局について
			2 西地区治水対策について
			3 西地区浸水対策について
			4 橋りょうについて
13	一括	谷川 眞司	1 舞鶴版地方創生について
			2 商業振興策について
			3 AEDについて
			4 旧市民病院の跡地利用について
14	一括	伊藤 清美	1 海軍ゆかりの港めぐり遊覧船について
			2 公職選挙法改正について
			3 ウズベキスタンとの交流について
15	一問一答	肝付 隆治	1 まちづくり事業推進のための財源の確保について
			2 舞鶴西地区の魅力あるまちづくりについて
			3 市民が引き揚げに関する史実に関心を持ち、知識を深めることについて

※質問事項のうち各議員が記述の主な質問・答弁の要旨以外の事項は、ホームページをご覧ください。

※一括 … 全ての質問項目を一括して質問した後、一括して答弁を求める質問の方式

※一問一答 … 全ての質問項目を一括して質問するのではなく、一問ごとに質問し、その都度、答弁を求める質問の方式

平成28年3月10日、11日本会議を開き、15人の議員が一般質問を行いました。質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

一般質問

住民の体操やサロンで質は落ちるはず



日本共産党議員団
小杉悦子

質問 要支援者の訪問介護と通所介護を介護保険からはずし、市町村の新総合事業に2017年度に移行する計画だが、その準備状況はどうか。

答弁 今年度利用者の状況把握を行い、サービスの質を落とさないための受け皿メニュー

1の再考など検討を進めているところだ。

保険料の引き下げを

質問 国民健康保険では、2016年度から資産割の廃止に向けた変更が組み込まれている。今回の変更について市の考えを問う。

答弁 平成28年度の保険料については基金の繰り入れにより据え置きとした。資産割は、所得割を補完する趣旨から設けているが、収益のない居住用の固定資産も対象となり、持ち家を所有する低所得者層に大きな負担となっていること、市内に所有する固定資産だけが対象であることから、資産割の廃止を提案した。

地域医療連携システム早期導入を要望



公明党議員団
杉島久敏

質問 中丹医療再生計画に基づき、舞鶴市内の公的4病院の医療センター化に向けた施設整備が完了したことに対し、診療予約の簡略化を図り、同日複数科診療を可能にする診察券の一元化を要望する。また、一貫した質の高い医療を提供する

ため、主要病院と多くの医療機関が診療情報を相互利用する地域医療連携ネットワークシステム導入について市の考えを問う。
答弁 公的病院における診察券の一元化および地域医療連携ネットワークシステム導入については、望ましい

城北・城南中学校の校区変更は



新政クラブ議員団
水嶋一明

質問 明倫小学校の校区は、昭和28年に一部の地域が城南中学校区に変更となった。今回の小中一貫教育の実施にあたり、他の中学校へ一部の児童が進学するのは、地域の小・中学校の一貫した取り組みが難しく、児童や保護者にも大きな負担が

予想される。城北中と城南中の校区の変更についてどのように考えているのか。また、いつから実施するのか。
答弁 小中一貫教育を効果あるものにするためには、明倫小学校の卒業生は全員同じ城北中に進学することが望ましい

3世代同居政策の推進を



創政クラブ議員団
林三弘

質問 核家族が進む中、子育て、介護などの社会問題を考える。最後に帰着するのが親子3代同居政策である。3世代同居政策を進める考えはないか。
答弁 3世代同居などに対する支援策をはじめ、家庭や地域との絆を深める施策などに

ついて検討していきたい。
質問 舞鶴合同青果が裁判所に民事再生手続の申し立てを行った。農家の振興に重要な機能を持つ市場の今後はどうなるのか。
答弁 裁判所から30

と考えている。校区の変更は、保護者や地域の方々に理解いただく中で行っていきたい。また、その実施時期は、平成28年度の新6年生が卒業する29年度からの実施を目指し進めていきたい。



小中一貫教育を
実りあるものに

万円以下の債権を除き弁済禁止の保全決定が得られた。債権を有する農家には、すでに順次支払いが進められており、農家への支払いが確保される。市としては、農家が守られること、市場機能が存続することが、まずもつて必要と考えている。今後は、裁判所の手を経て事業を継続しながら会社の再建に向けて進まれることになる。

一般質問

平成28年3月10日、11日本会議を開き、15人の議員が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

教職員の資質能力
向上施策を問う



鶴翔会議員団
田村 優樹

質問 本市では、

学力の向上に向けたさまざまな取り組みを実施させるために、中学校の教員を学力全国トップクラスの福井県教育委員会へ1年間の長期派遣をし、先進的な授業を学び、研修終了後は本市の指導教員として教員全体の授業力

向上につなげるという

計画がある。教職員の指導者の立場を担うという任務は、まさに責任重大であることから、派遣される人数は果たして1名だけで十分なのか、また、教職員の選考方法はどのように行うのかを問う。

答弁 職員の派遣人

数、選考方法については、中学校教員1名について、本市の学力の課題を広い視点で理解し、福井県の高い学力の背景にある取り組みを学び、派遣後において本市教育の充実に向けて、教員に指導できる人材を教育委員会において選考する。

(仮称) 西運動公園の
整備は



会派に所属しない議員
西村 正之

質問 本格的な運動

公園として整備される(仮称)西運動公園について、整備概要とスケジュール、完成後の利用方法、および駐車場について問う。

答弁 整備概要につ

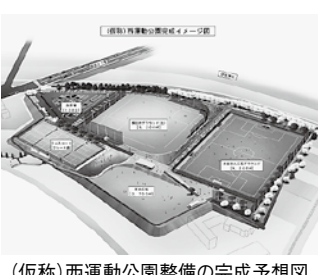
いては、多目的人工芝グラウンド1面、多目的グラウンド1面、テ

ニスコート4面、芝生

広場、および138台の駐車場を整備する。

ナイター設備の整備は予定していないが、隣接する伊佐津川堤防や桜並木とあわせ、市民の憩いの場となるもの

と考えている。順次整備を進め、平成29年度中にすべての工事を完



(仮称)西運動公園整備の完成予想図

了し供用開始する予定である。完成後は、多目的グラウンドやテニスコートについては、適正な利用料を設定し、ご利用いただく予定としている。

高齢者と子どもの貧困に
寄り添う施策を



日本共産党議員団
石束 悦子

質問 民生児童委員

さんの仕事等重要視されているが①1人当たりの把握人数と増員は。②独居老人や2人暮らしの高齢者の見守りとして公営住宅にシルバーハウジングを取り入れる、介助員を増やすなど大胆な対策は。

答弁 ①345名、

府に増員を要望中。②

地域の共助の取り組みを促進。

質問 ①舞鶴に児童相談所がない中で相談体制は。②子ども食堂支援や、保育所・保育園の温かいご飯付給食への見直しは。

答弁 ①子ども何でも相談窓口を中総合会

切れ目ない子ども・
子育て支援の充実を



公明党議員団
小谷 繁雄

質問 新たな「子ども

何でも相談窓口」事業の支援内容、ひとり親・多子世帯の支援として、「ワンストップ窓口」の設置などについて、本市の見解を問う。

答弁 中総合会館

に、保健師、ソーシャルワーカーを配置し、ニーズに沿ったきめ細

かい支援と、児童虐待

について0歳から18歳まで切れ目のない支援

をしていく。ひとり親世帯の支援は一カ所で相談窓口を設けており、今後とも寄り添い型の支援に努めていく。

障がい者支援の充実を

質問 障がい者の就

館に設置予定。②貧困実態を把握し関係者の意向を聞く。主食については各施設の方針と考える。

バス増便と街灯の増設を

質問 周辺部は交通

が不便で夜は大変暗い。①バスの増便を②街灯の増設を、また、町内へ補助できないか。

答弁 ①交通事業者

と連携し確保に取り組み②現地を調査し判断。

答弁 今年度から

「障害者の就労支援のあり方に関する研究会」を立ち上げ、就労支援・確保に向け議論している。障害者施設の製品販売促進に向け就労支援事業所との連携・協議を進め、ホームページなどを活用した支援策を検討する。

策を検討する。

平成28年3月10日、11日本会議を開き、15人の議員が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

一般質問

舞鶴警察署と安全・安心協定の締結は



新政クラブ議員団
今西 克己

質問 努力が報われる社会の実現、真の弱者を助け合う社会の実現、信頼を裏切らず、約束を守り、感謝を忘れずに、の三つの信条と理念に基づき、心豊かに暮らせるまちづくり、安心なまちづくりを目指す本市にとって、舞鶴をより一層真の安

全・安心なまちとするためには、治安対策の要である警察との連携を欠かすことはできない。その連携をさらに深化させ、行政としても積極的に関わっていき、行政が地域の皆様と警察の架け橋となつて本市の治安対策に取り組んでいく必要がある。

る。舞鶴警察署との間で、「安心・安全なまちづくりに関する協定」を締結することについてどのように考えておられるのか問う。

答弁 舞鶴市民が、安全に安心して暮らせるまちづくりを実現するためにも、早期の協定の締結に向けて協議していく。

舞鶴市の環境に対する考えは



新政クラブ議員団
眞下 隆史

質問 本市のCO₂排出削減に対する取り組みについて、日本板硝子舞鶴事業所では燃

業所・市民の皆さんの意識を導く施策が必要と考えるが本市の見解を伺う。
答弁 事業所に対して省エネ型設備・機器の導入には「舞グリーン」などの融資・補助制度や環境マネージメントシステムの認証取得補助を設け、一般家

庭へは電気自動車などの費用補助や、出前授業の実施など啓発を促し、事業所・市民の良いい活動に対しては、まいづる環境市民会議から表彰などを実施する提案が検討されている。



LNG化へ決意の設備投資

まちづくりにおける女性の活躍



創政クラブ議員団
高橋 秀策

質問 ①政策や方針を決定する過程に女性の参画が拡大することは重要である。審議会など活躍の機会を拡大させることと②市役所における女性の採用から登用に至る状況と事業主行動計画の策定の

はの視点や多様な声を取り入れることは魅力あるまちづくりにつながることから、審議会などへの女性委員の積極的な登用拡大に努める。②職員に女性が占める割合と、係長級に占める割合が同じ水準になっている。事業主行動計画を策定して女

性が活躍できる職場環境の創出に努める。
質問 多くのバス停にはベンチが設置されておらず不便を感じている利用者がおられる。バス待ち環境の改善を図るためどのように取り組むのか問う。

答弁 市民ニーズに合わせた環境の改善に交通事業者と連携して取り組む。

コミュニティFM局開局は



創政クラブ議員団
尾関 善之

質問 コミュニティFMは、学校だよりや防災情報、行政情報など地域に密着した情報を放送することで、舞鶴市民のFMとなると考えるが、市の情報伝達手段としての活用方法について問う。

源として、学校情報や市政情報、商店街や地域イベント情報など新たな交流と地域の活性化に大きく寄与すると考えており、加えて防災情報の伝達手段として活用を考えている。
答弁 市としてさまざまな情報を扱う発信

西地区の浸水対策

質問 西の市街地は

天井川の伊佐津川と高潮をもろに受ける高野川に囲まれた、内水の影響が大きい地域であり組みについて問う。
答弁 西地区の浸水対策には、河川の整備と併せ下水道の雨水事業が必要不可欠と考えられており、京都府とよく連携し、河川事業と一体となって一日も早い事業化に向けて鋭意努力していく。

答弁 ①女性ならで

平成28年3月10日、11日本会議を開き、15人の議員が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

一般質問

「AED」の交換整備は

質問 市で設置をしたAEDについては、すでに8年以上が経過しているが、今後の整備方針を問う。

答弁 AEDは、現在公共施設68か所に設置し、各施設管理者が毎日点検をしている。4台の貸し出し用を準備し、スポーツ大会など



創政クラブ議員団
谷川 眞司

への貸し出しもやっている。28年度において62台を更新する。

旧市民病院の跡地整備は

質問 旧市民病院施設の活用について東公民館・文庫山学園の機能移転のほか、どういった機能整備を考えているのか、また、活用



創政クラブ議員団
伊藤 清美

引き揚げの歴史をベースにした交流を

質問 ウズベキスタンにおける日本人抑留者と地元住民との交流のエピソードやナヴォイ劇場を建設した日本人抑留者の勤勉さは、現地でも高く評価されている。先般、現地の資料館長が来鶴された縁を通じ、同じテーマを持つ資料館との交流

と、東京オリンピックのホストタウンに同国を相手国として登録申請し、事前キャンプを誘致する考えはないか問う。
答弁 スルタノフ館長の来鶴はウズベキスタンとの交流の良いきっかけであり、今後引き揚げの史実を通じた

しない建物を取り壊した後の跡地利用はどのように進めていくのか、現在の進行状況および今後の予定を問う。
答弁 「東公民館」、文庫山学園は西棟を活用し、現在のニーズに合った施設として整備したい。本館、北棟などの建物は除去し、その跡地には民間活力を導入し、健康増進施設や温浴施設などを考えている。

交流を中心に、国際交流の推進に努める。また、レスリングの強豪国でもあるウズベキスタンに対し、昨年度開催の全国高校総体レスリング競技において整備した競技環境などを活用するとともに、東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ誘致の実現を目指して準備を進め、交流拡大を図りたい。

まちづくり事業の財源確保はいかに

質問 今後のまちづくりにおいては、持続可能なまちづくりを基本とした事業計画が必要である。現在検討が進んでいる観光拠点としての赤レンガ周辺まちづくり構想や、市民の憩いの場となる旧市民病院跡地利用などの大型施設整備のための

答弁 大型施設の実現には大きな投資を要することから「赤レンガ構想」については防衛省まちづくり事業補助金から75%の高率の補助を受け、「旧市民病院跡地利用」については国土交通省から50%の補助を受ける。市



創政クラブ議員団
肝付 隆治

から支出する財源については、地域経済の活性化による雇用の拡大や企業誘致の推進などによりさらなる税収の拡大を実現し、加えて債権管理の適正化や公共施設などにおける受益者負担の適正化など歳入歳出両面からの取り組みを進め、持続可能な財源の確保に努める。

議会を傍聴してみませんか

議会は誰でも傍聴することができます。

お問い合わせは
市議会事務局へ
☎66-1060



本会議において、付託された議案を5常任委員会において審査しました。
 予算決算委員会（付託議案17件）、民生環境委員会（付託議案13件）、
 経済消防委員会（付託議案4件）、建設委員会（付託議案4件）

常任委員会の審査報告

予算決算委員会

議案17件のうち、9件を全員賛成、8件を賛成多数で可決

平成27年度舞鶴市一般会計補正予算（第4号）では、質疑において、地方創生加速化交付金事業について、先駆的な取り組みの中で北部5市2町の圏域を最大限に活用した事業を国にアピールし、一般施策との両立の中で移住・定住・交流の施策に取り組んでいくなどの答弁がありました。討論では、反対の立場から、地方創生加速化交付金の約90%が観光施策に配分されており、安定した雇用や若い世代への支援策がないとの意見。

るとの意見がありました。

次に、平成28年度舞鶴市一般会計予算では、質疑において、世界記憶遺産国際ブランド推進事業は、旧軍港市と連携した引揚港巡回展や登録1周年記念行事の開催、平成31年に京都で開催される博物館世界大会の関連事業の誘致活動を行うことなどの答弁がありました。

賛成する立場から、同交付金を活用し、地域の活性化を図る新規事業が追加され、28年度に位置付けている「飛躍元年」「行動元年」に向けた予算である

役を担う指導主事2名を配置すること。また、教員長期派遣研修事業は、学力が全国トップレベルにある福井県に

教員を派遣し、指導方法や指導体制などについて学び、本市の教員全体の授業力向上に努めてもらうなどの答弁がありました。

また、西地区浸水対策事業について、逆流防止施設設置工事で、京都府が管理する高野川において、河川事業と下水道事業が一体となり、府と連携しながら逆流防止弁を設置していくなどの答弁がありました。

教育分野では、小中一貫教育推進事業について、小中一貫教育は、基本方針に基づきモデル事業方式で開始し、28年度に城北と加佐の2中学校区において、コーディネート

進める市民の未来を見据えた積極的な予算編成であるとの意見がありました。

民生環境委員会

舞鶴市子ども・若者支援会議を設置

舞鶴市子ども・若者支援会議条例制定

討論において、反対の立場から、西地区浸水対策事業について、対策が一步前進するものではないが、エリアの限定などで市が線引きすることは、浸水被害に苦しんでいる市民に行き届かない恐れがあるとの意見や、教員長期派遣研修事業は、学力テストの点数引き上げだけに注視するやり方であり、必要はないとの意見。

賛成の立場から、28年度の三つの重点項目の「心豊かに暮らせるまちづくり」「安心のまちづくり」「活力あるまちづくり」を推し

休日急病診療所の指定管理者である一般財団法人舞鶴地域医療連携機構の組織改編に伴い、同診療所を市の直営施設に改めるとともに、指定管理者の指定期間を平成28年3月31日までに変更するものであるとの説明を受けました。

討論において、賛成の立場から、市の直営になることにより、府立医大との連携がさらに強固なものとなり、今後の地域医療の充実につながるなどの意見がありました。

経済消防委員会

舞鶴市火災予防条例を改正

舞鶴市火災予防条例の一部を改正する条例制定は、関係省令の改正に伴い、近年流通してきた設備や器具に係る離隔距離を定めるなどの改正を行うもので、平成28年4月1日から

施行するとの説明がありました。

質疑において、今回の改正は、当初予想していなかった厨房設備や調理器具を加え、従前の設備などと同様の離隔距離を定めるもので、規制が厳しくなるものではないなどの答弁がありました。

また、舞鶴市勤労者福祉センター条例の一部を改正する条例制定については、舞鶴市勤労者福祉センターの旧舞鶴市民病院南棟2階への移転に伴い、同センターの位置や施設と区分、利用料金を改めるもので、平成28年4月1日から施行するとの説明がありました。

建設委員会

水道料金・公共下水道使用料を引き上げ

舞鶴市水道事業給水条例の一部を改正する条例制定は、水道事業の持続的・安定的な経

常任委員会の審査報告 討 論

3月28日の最終本会議において、提案された議案に対して各会派が討論をしました。

営を図るため、水道料金を平均で11・2%アップする改定を行うこととし、平成28年10月1日から施行するとの説明がありました。

質疑において、今回の料金改定は、舞鶴市水道審議会の答申内容を踏まえ、家事用と事業用の格差の是正や増性などの料金体系の見直しを行うものであるなどの答弁がありました。

討論において、反対の立場から、市民の暮らしの実態を踏まえ、一般会計からの繰り入れを行い市民負担を軽減すべきであるとの意見。

賛成の立場から、今後、大幅な資金不足が見込まれる中、持続可能な事業運営のため収入確保を図り、料金改定することは必要であるとの意見がありました。

また、舞鶴市下水道

正する条例制定は、公共下水道使用料について、増増性を採用するなどにより12・4%の増額改定を行い、集落排水・公設浄化槽などに係る使用料について、公共下水道との料金体系の統合などにより34・9%の減額改定を行うものであるとの説明がありました。

討論において、市民の暮らしに欠かせない下水道の使用料を引き上げることには反対するとの意見。

賛成の立場から、下水道事業の健全化に向け、使用者負担の公平性を図り適正な水準に料金改定することは必要であるとの意見がありました。

また、舞鶴市下水道



討 論

舞鶴の医療 レベル向上を



鶴翔会議員団
松岡 茂長

54議案のうち、病院事業会計予算には反対、その他の議案には賛成の立場で討論する。

舞鶴の医療の現状を見ると、救急車で運ばれたあと長時間待たされて症状が悪化した人、救急で運ばれたのに診察が何時になるかわからないと言われ、市外の病院に急行して命拾いをした人などの話を多く聞く。舞鶴市内ですぐに高度な診療が受けられる体制を作つてこそ、医療再生計画の完成となる。舞鶴の医

療レベルを上げるためにまだまだ努力が必要。医療の最終責任を問われるのは舞鶴市だ。市民が安心できるように市の責任で市民の不安を払拭すべきだ。

赤字が続く市民病院の会計

市民病院は一般会計から2億4300万円という多額の補助があつて経営が成り立っている。今後と同様の赤字が毎年続くと予想される。建設に伴う企業債の返済が始まる3年後の平成31年度からはさらに厳しくなる。しっかりと改善策や収支見通しが示されない限り、市民病院の予算には反対する。

市民病院は一般会計

から2億4300万円という多額の補助があつて経営が成り立っている。今後と同様の赤字が毎年続くと予想される。建設に伴う企業債の返済が始まる3年後の平成31年度からはさらに厳しくなる。しっかりと改善策や収支見通しが示されない限り、市民病院の予算には反対する。

しっかりと改善策や収支見通しが示されない限り、市民病院の予算には反対する。



療養型になり赤字が続く舞鶴市民病院

教育・雇用・観光 まちづくり予算評価



創政クラブ議員団
高橋 秀策

学力向上の取り組みについては、小中一貫教育、統一テストやさまざまな分野で活躍する人の話を聴く夢講演会などの夢チャレンジサポート事業、中学校の教職員を全国トップクラスの福井県へ1年間派遣し、授業力アップにつなげること。また、東京事務所開設や中京圏の企業に対する積極的なアプローチを目的に、企業開拓員を名古屋に配置して企業誘致の実現に取り組むことなどを評価する。

学力向上の取り組みについては、小中一貫教育、統一テストやさまざまな分野で活躍する人の話を聴く夢講演会などの夢チャレンジサポート事業、中学校の教職員を全国トップクラスの福井県へ1年間派遣し、授業力アップにつなげること。また、東京事務所開設や中京圏の企業に対する積極的なアプローチを目的に、企業開拓員を名古屋に配置して企業誘致の実現に取り組むことなどを評価する。

万の人口、「海の京都観光圏」で発信する多様な観光資源や、モノづくりを中心に圏域総生産額約1兆円規模を誇る産業や製造品出荷額6000億円規模の工業団地群、多様な教育機関、海上自衛隊、海上保安本部、高度な医療が受けられる病院群など中核都市に匹敵する魅力的なまちである。新幹線のルートがわがまちに！次世代のために！子どもたちのために！舞鶴の将来のため是非新幹線をと願う、討論とする。



北陸新幹線

北部5市2町30

3月28日の最終本会議において、提案された議案に対して各党派が討論をしました。

厳しい市民生活にさらなる負担増は反対

日本共産党議員団
伊田悦子



54議案のうち14議案は反対。その他は賛成。厳しい市民生活に追い打ちかける、上下水道料金、後期高齢者保険料の値上げ反対。国民健康保険料・介護保険料はさらなる市の独自努力で引き下げ求めてきたが応えられず反対。

子どものびる環境整備を

特定のできる子どもへの支援。学力向上だけを目的とした、福井県教育委員会への中学校教員派遣。これらの事業は本来の教育の目的から逸脱している。教育の全ては学力向上ではない。教員がゆと



子どもの笑顔絶えない教育を

りを持って子どもと向き合える環境づくりで学ぶ権利を保障する。そのための教員の増員などの環境整備にこそ行政は力を入れるべき。市民病院は経営上一般会計から2億4300万円繰り入れが必要。今後の見通しを示し市民の理解も得るよう求めたが応える姿勢はない。見通しも示さない予算は認められない。行政不服審査法改正に伴う条例関連は、行政の迅速化は進むが救済の仕組みは後退するというところから異議を持つことから反対。

持続可能で安定的な財政運営を堅持

公明党議員団
杉島久敏



公明党議員団を代表し今3月定例会に上程された全議案に賛成し討論する。平成27年度舞鶴市一般会計補正予算は、国の補正予算による地方創生加速化交付金を活用することなどにより、地域の活性化を図る9件の新規事業が追加されている。

また、年金生活者等支援臨時給付金給付事業が追加され、低所得高齢者の生活環境を支援するものと期待する。平成28年度予算は、ターゲットイヤーとして見据えた昨年度を含め、



議会での討論

着実な基礎固めによる実績を活かし、「飛躍元年」「行動元年」として舞鶴版・地方創生を「心豊かに暮らせるまちづくり」「安心のまちづくり」「活力あるまちづくり」の三つの重点項目により、持続可能で安定的な財政運営を堅持するものとして編成された。京都舞鶴港クルーズ推進事業などの観光事業および企業誘致を目的とする整備事業により、交流人口のさらなる増加や経済発展の可能性を促進・拡大する施策として評価し、賛成する。

歴史と文化がイメージできる総合施設に

新政クラブ議員団
和佐谷寛



第1号議案から54号議案の全議案に賛成する。舞鶴市西公民館、郷土資料館を移転して西総合会館へ統合し、利便性の高い施設へと再編整理する機会に、「呼称」を市民から募集し、歴史と文化がイメージできる総合施設としてはどうか。

舞鶴引揚記念館が世界記憶遺産に登録され、京都府北部5市2町の連携のもと「北部観光圏」のスポットとして本市のさらなる飛躍に貢献することに期待する。



西総合会館

介護人材確保事業は、「市民福祉ささえあい基金」を活用した介護人材の確保や養成支援により、介護サービスを利用する高齢者にとって喫緊の課題であり、「住んでよかったと言えるまち」の実現につながり評価する。財団法人「舞鶴地域医療連携機構」の事務組織と市の地域医療担当部門を統合し、実務的な執行体制に移行することにより、医療連携・救急医療体制の強化、医師の確保や電子カルテの共有など地域医療に貢献する。

2月29日、3月28日の本会議での議案採決の結果は、次のとおりです。

この採決は、「押しボタン式投票」で行ったものです。

この結果は、舞鶴市議会のホームページでも公表しております。

全会一致で可決した 予算議案

- 平成 28 年度舞鶴市簡易水道事業会計予算
- 平成 28 年度舞鶴市土地建物造成事業会計予算
- 平成 28 年度舞鶴市貯木事業会計予算
- 平成 28 年度舞鶴市駐車場事業会計予算
- 平成 27 年度舞鶴市病院事業会計補正予算（第 1 号）
- 平成 27 年度舞鶴市国民健康保険事業会計補正予算（第 3 号）
- 平成 27 年度舞鶴市簡易水道事業会計補正予算（第 1 号）
- 平成 27 年度舞鶴市下水道事業会計補正予算（第 4 号）
- 平成 27 年度舞鶴市介護保険事業会計補正予算（第 3 号）

全会一致で可決した 議員提出議案

- 舞鶴市議会委員会条例の一部を改正する条例
- 農業委員会委員の解任請求について
- 農業委員会委員の推薦について

全会一致で可決した その他の議案

- 指定管理者の指定期間の変更について（舞鶴市休日急病診療所）
- 辺地に係る公共的施設総合整備計画の変更について
- 市道路線の認定について
- 人権擁護委員候補者の推薦について



可…可決、否…否決、同…同意、承…承認、認…認定、可認…認定及び可決、採…採択、不…不採択、○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席、除…除斥、棄…棄権

林三弘	山本治兵衛	今西克己	上野修身	岸田圭一郎	鯛慶一	福村暉史	眞下隆史	水嶋一明	和佐谷寛	上羽和幸	小谷繁雄	杉島久敏	松田弘幸	石束悦子	伊田悦子	小杉悦子	後野和史	亀井敏郎	田村優樹	松岡茂長	西村正之	議決をした日
創政	創政	新政	新政	新政	新政	新政	新政	新政	新政	公明	公明	公明	公明	共産	共産	共産	共産	鶴翔	鶴翔	鶴翔	無会派	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	3月28日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	3月28日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	3月28日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	3月28日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	3月28日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	3月28日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	3月28日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	3月28日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	3月28日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	3月28日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	3月28日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	3月28日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	3月28日

☆舞鶴市議会の議員定数は 28 人です。

議案の採決結果

(平成 28 年 3 月定例会)

会期：2月29日～3月28日

全会一致で可決した条例議案

- 舞鶴市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例制定について
- 舞鶴市公共施設等整備基金条例制定について
- 舞鶴市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市職員の分限に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市市税条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市の特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例及び舞鶴市教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市組織及び分掌事務に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市実費弁償条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市火災予防条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市勤労者福祉センター条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市子ども・若者支援会議条例制定について
- 舞鶴市予防接種健康被害調査委員会条例制定について
- 舞鶴市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例制定について
- 舞鶴市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市善行表彰基金条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市保健センター条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法等に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市休日急病診療所条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市国民健康保険高額療養費貸付基金条例を廃止する条例制定について
- 舞鶴市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について

賛否が分かれた議案

議員名簿等 (会派内は五十音順)		出席者数	投票者総数	賛成	反対	棄権	議決結果	伊藤清美	尾関善之	肝付隆治	桐野正明	高橋秀策	谷川眞司
								創政	創政	創政	創政	創政	創政
市長提出議案	平成28年度舞鶴市一般会計予算	28	27	23	4	0	可	○	○	○		○	○
	平成28年度舞鶴市水道事業会計予算	28	27	23	4	0	可	○	○	○		○	○
	平成28年度舞鶴市病院事業会計予算	28	27	20	7	0	可	○	○	○		○	○
	平成28年度舞鶴市国民健康保険事業会計予算	28	27	23	4	0	可	○	○	○		○	○
	平成28年度舞鶴市下水道事業会計予算	28	27	23	4	0	可	○	○	○		○	○
	平成28年度舞鶴市介護保険事業会計予算	28	27	23	4	0	可	○	○	○		○	○
	平成28年度舞鶴市後期高齢者医療事業会計予算	28	27	23	4	0	可	○	○	○		○	○
	舞鶴市行政不服審査会条例制定について	28	27	23	4	0	可	○	○	○		○	○
	舞鶴市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例制定について	28	27	23	4	0	可	○	○	○		○	○
	舞鶴市情報公開条例等の一部を改正する条例制定について	28	27	23	4	0	可	○	○	○		○	○
	舞鶴市手数料条例の一部を改正する条例制定について	28	27	23	4	0	可	○	○	○		○	○
	舞鶴市水道事業給水条例の一部を改正する条例制定について	28	27	23	4	0	可	○	○	○		○	○
	舞鶴市下水道使用料条例の一部を改正する条例制定について	28	27	23	4	0	可	○	○	○		○	○
	平成27年度舞鶴市一般会計補正予算(第4号)	28	27	23	4	0	可	○	○	○		○	○
議員提出議案	舞鶴市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	28	27	23	4	0	可	○	○	○		○	○

議長は採決に加わりません

常任委員会の審査報告 特別委員会の活動報告、6月定例会の予定

総務文教委員会

教育委員会所管のスポーツ・文化に係る事務を市長部局に移管

舞鶴市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例制定は、スポーツおよび文化に関する事務を「地域づくり」の観点から、市長の職務権限において他の地域振興の諸施策と合わせ一体的に管理・執行するものであるとの説明がありました。

質疑において、教育委員会は学校教育の取り組みをより強化するとともに、市長部局は文化・スポーツの振興について、地域づくりを担う人材を育成し、地域力を高めていくものであるなどの答弁がありました。

討論において、賛成の立場から、スポーツと文化に関する事務の移管について、地域振

興やまちの活性化につながることに、教育委員会は学校教育に特化することで、学力向上の充実が期待できるとの意見がありました。

また、舞鶴市組織及び分掌事務に関する条例の一部を改正する条例制定は、効率的かつ効果的な組織運営を行うため、市の「市民環境部」を「市民文化環境部」とし、その分掌事務に地域コミュニティ、生涯学習、文化、スポーツに関することを追加し、また、「水道部」と「下水道部」を「上下水道部」として統合するものであり、平成28年4月1日から施行するとの説明がありました。

討論において、賛成の立場から、今回の組織改編は、ひとづくり、まちづくりによる活性化や、事業統合による効率的・効果的な運営につながるものであるとの意見がありました。

特別委員会の活動報告

北陸新幹線誘致特別委員会

1月20日に委員会を開催し、府北部5市2町の首長と議長による京都府知事への要望について報告を受けるとともに、同月25日に小浜市へ調査視察を行うこととしました。

視察では、昭和48年に北陸新幹線の整備計画が決定されてから、小浜市議会では途中活動を休止されていましたが、平成25年から活動を再開し、特別委員会の設置、県や国土交通省の職員との研修、国に対して早期実現を求める意見書の提出、国や県、県議会への積極的な要望活動、市内の各種団体との意見交換会など、若狭ルート実現に向けて全力で活動しているとの説明を受けました。

3月24日に委員会を

開催し、今後、市内の各種団体と意見交換を行うこととし、4月18日には商工会議所女性会と意見交換を行いました。

原子力防災・安全等特別委員会

2月23日に委員会を開催し、執行機関から原子力災害住民避難計画の改正案の説明を受けるとともに、同月25日・26日に愛媛県の八幡浜市と伊方町へ調査視察を行うこととしました。

視察では、策定されている原子力災害に係る住民避難計画について、八幡浜市では避難ルートは県の避難シミュレーションに基づき4地域に分け3方向に分かれて避難する推奨ルートとしていることなど、また、伊方町では原則車両による陸路避難としているが、大分県等へ

の海路、空路避難、屋内避難としていることなどの説明を受けました。

3月4日に委員会を開催し、原子力災害住民避難計画の改正案に対する意見を取りまとめ、それを執行機関に提出することとし、同月29日には、その意見も踏まえた同避難計画の改正について執行機関から報告を受けました。

6月 定例会予定

6月

- 6日(月)本会議(開会)
- 10日(金)請願受理締切
- 15日(水)本会議(一般質問)
- 16日(木)本会議(一般質問、質疑)
- 17日(金) 予算決算委員会分科会・常任委員会
- 20日(月) 予算決算委員会分科会・常任委員会
- 24日(金)予算決算委員会
- 29日(水)本会議(閉会)

※予定は変更することがあります。

